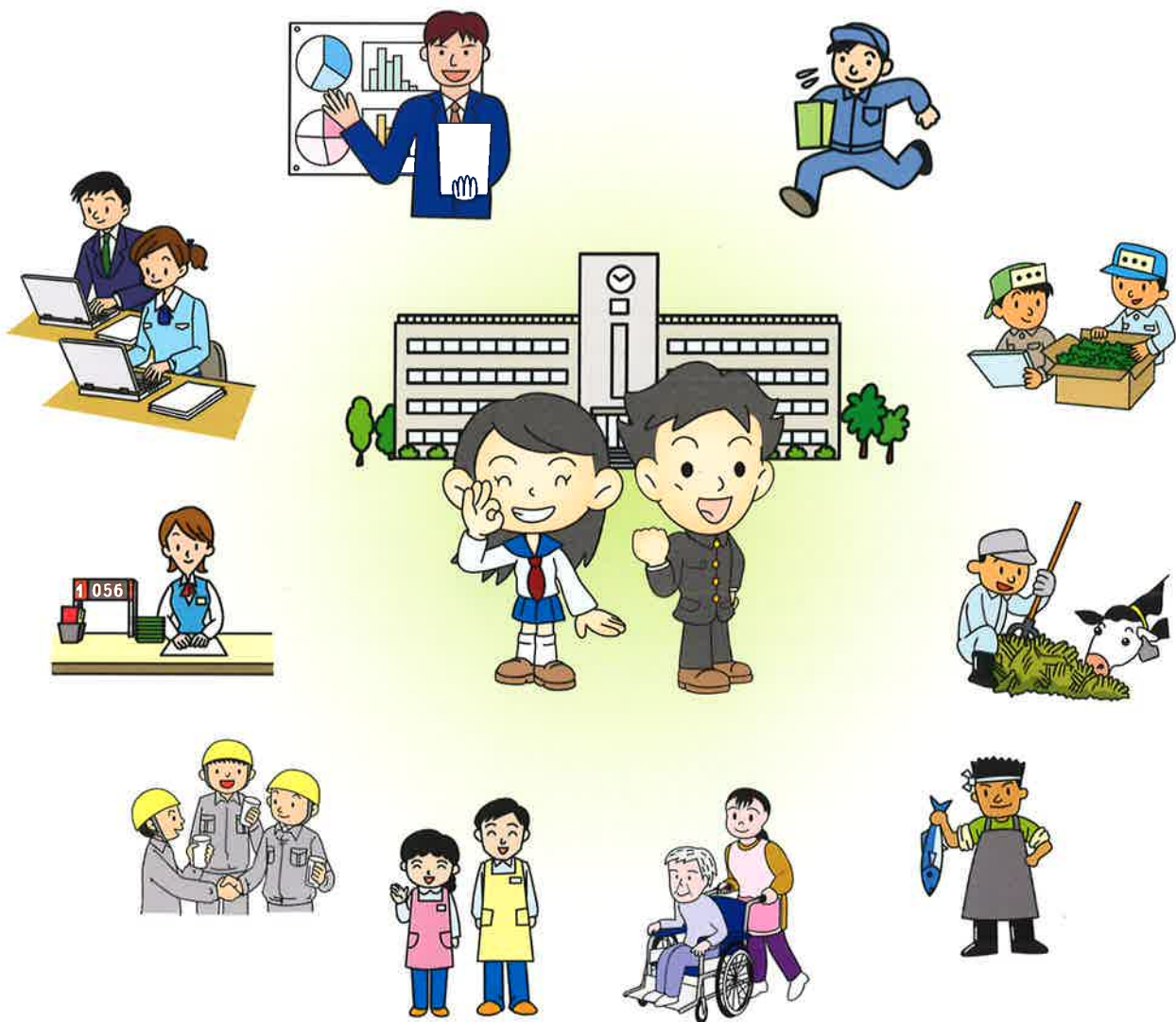


# 高校生 インターンシップ

—— 就業体験の受け入れをスムーズに進めるために ——



沖縄県教育庁 就業体験受入事業所開拓業務

受託企業:(株)ケイオーパートナーズ

県立学校就業体験サービスセンター

☎0120-963-582

## 高校生就業体験 (インターンシップ) って何?



高校生就業体験(インターンシップ)とは、高校生が一定期間、企業や事業所等で、実際に就業(仕事)の体験をすることです。色々な教育機関で児童生徒の発達段階に応じたインターンシップ事業を行っています。小学校は「職場見学」、中学校は「職場体験」、大学・専門学校等では就職活動の一環として行っています。高校生就業体験(インターンシップ)は、高等学校教育への援助・協力として実施しています。

## インターンシップの 意義・目的について



就職先を決定するまでに、小・中・高校では様々な取り組みを通して、職業に興味、関心が持てるように働きかけています。高校生では、様々な産業や職業理解をインターンシップ等の体験も活用しながら行います。そのほかにもインターンシップでは、働くことの楽しさややりがい、大変さを知ると同時にコミュニケーション力や物事に進んで取り組む力等、社会に出てから必要となる力に気がつく機会となることを目的としています。

### インターンシップ実習中の 生徒への対応について



生徒はインターンシップで働くことのやりがい、コミュニケーションの大切さ等、社会人として必要な力を実習で学びます。生徒の社会人としての自覚を促すためにも、生徒を「お客様」のように扱わず、受入期間中は事業所(企業)の一員として扱ってください。また、事業所本来の業務の支障にならないよう、生徒には補助的な業務を中心に体験させてください。全事業所に共通する「指導して頂きたいポイント」を以下に記載させていただきますので、ご参考下さい。

## 事業所の方に指導してほしい★3つのポイント★



### Point 1 「仕事」を達成することについて

仕事を成し遂げる経験をさせてください。補助的な業務でも、生徒の作業が業務全体のどの部分を担っているかを教えることで、仕事に対する意識が高まります。生徒は仕事のつながりを意識することで、生徒が行っている業務(実習)が事業所にとって大切な仕事であることを理解し、働く意欲が高まります。

### 勤労観・職業観の育成

「仕事」を成し遂げる達成感や充実感を得ることができ、自ら進んで働こうとする意欲向上や、積極性・主体性を身に付けることが必要であることに気づききっかけになります。

### Point 2 コミュニケーションについて

仕事の話や雑談等、さまざまな場面で生徒と話をして頂き、異世代とのコミュニケーションに慣れる機会を作ってください。また、働くうえでかせない「報告・連絡・相談」等のコミュニケーションを生徒に求めることで、コミュニケーションの難しさや大切さを知り普段から「伝え合う」ことの重要性を意識して生活するきっかけとなります。

### コミュニケーション能力向上

事業所側から積極的に生徒とコミュニケーションをとって頂くことで、社会で生活するうえで欠かすことのできないコミュニケーションスキルの向上を図ります。

### Point 3 働く理由について

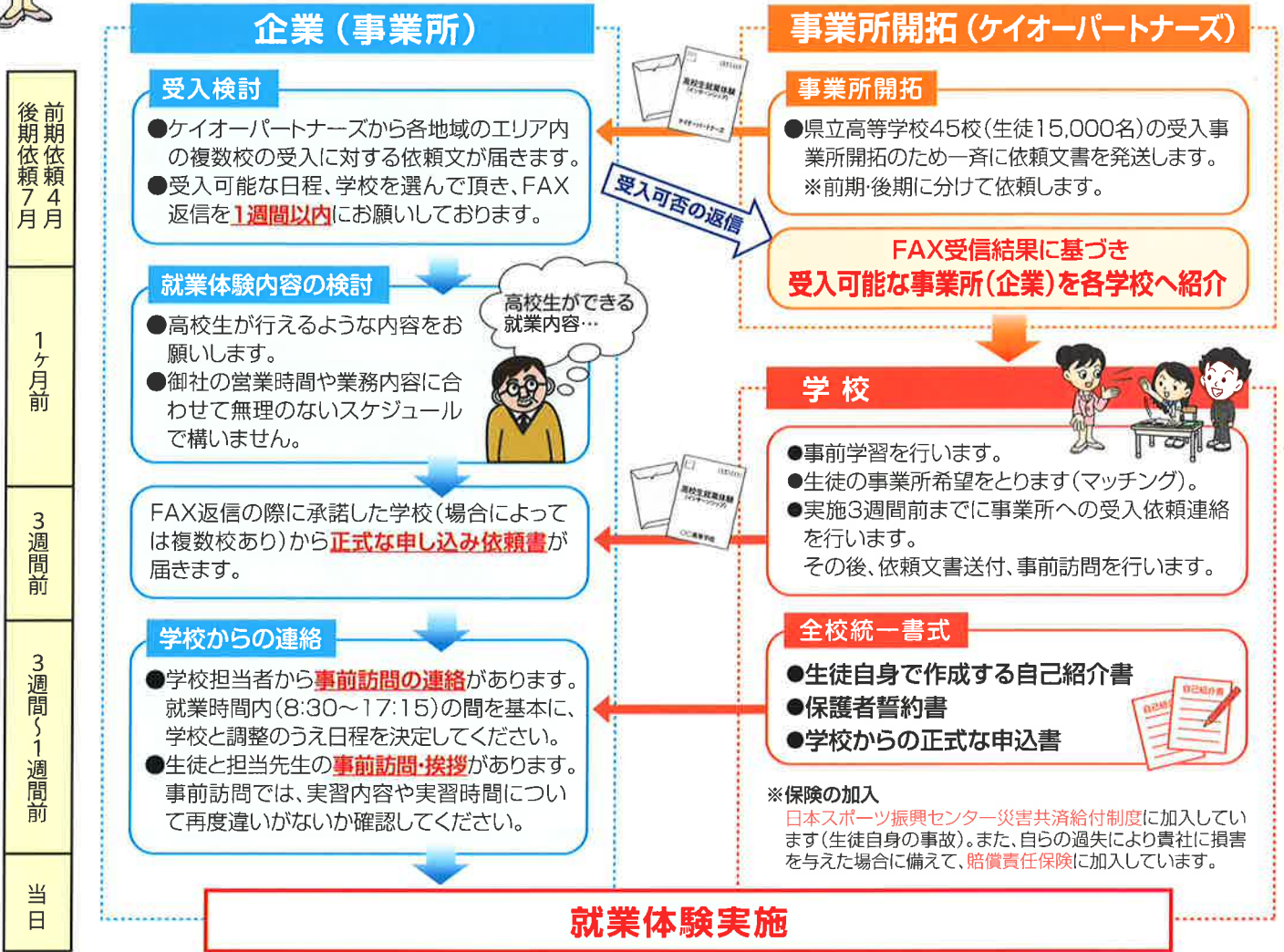
大人がどういう想いで仕事をしているか、社会で生活するうえで仕事をすることがなぜ重要だと思っているか等、働くなかで感じている想いを生徒に伝えてください。働く大人の熱意や生き様、価値観に触れる機会を作ってください。

### 学校と社会のつながり

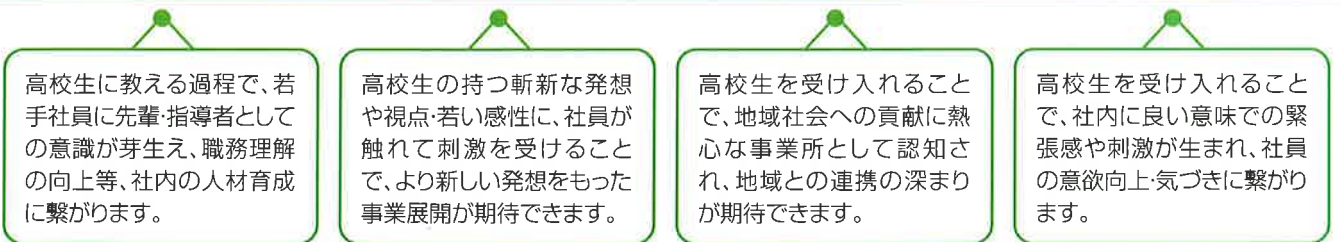
社会と接点を持ち「こういう大人になりたい」と思った生徒は進路・就職について目的意識が芽生えます。将来のために何をすべきか普段から意識することの重要性を理解することで、将来の進路・就職を意識させ、学習意欲の向上を図ります。



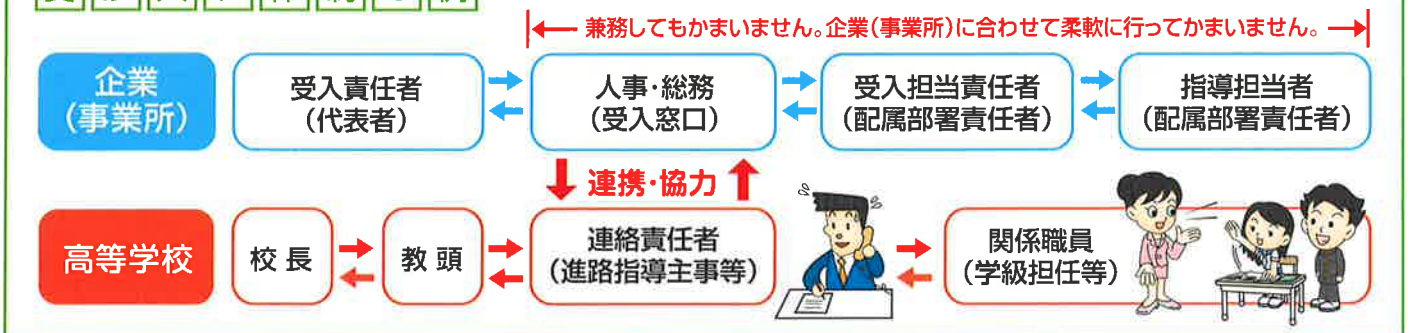
## 高校生就業体験（インターンシップ）の流れ



## 企業（事業所）にとっての導入効果



### 受け入れ体制の例



よくあるQ&A

**Q** 将来この職種への就職を希望している生徒を受け入れたい。

**A** 高校1、2年生では、まだ将来何をしたいのか決まっていない生徒もいます。インターンシップを通して、自分の適性に気づく事もあります。インターンシップが進路選択の幅を広げるきっかけになる様、是非ご理解頂き、ご協力をお願いいたします。

**Q** うちの単純作業くらいしかさせてあげられそうにないが…。

**A** 単純作業も、貴事業所の大事な業務の一環です。高校生に出来る仕事内容は限られてくると思いますので、単純作業も決して悪くはありません。大切なのは「業務の指示を出す際に、“この作業には、こういう役割があるんだよ”と作業の意味を伝えてあげる」ことです。

**Q** アルバイトとインターンシップはどう違うのですか？

**A** アルバイトは賃金労働であるのに対し、インターンシップは「単なる労働力として従事させるのではなく、生徒たちに望ましい職業観を身に付けさせる」ことを目的としています。

**Q** 注意したら、ふてくされてしまわないか心配だ。

**A** 今の高校生は世代の違う人と関わる機会が少なく、異世代コミュニケーションに慣れない面があります。そのため緊張した表情が「ふてくされている」ように見えることもあります。慣れてくると、本来の明るさが出てきます。こうした点を踏まえ、寛容な心を持ちつつ、注意すべき点は愛情を持って指導をお願いします。



受入事業所・生徒の声

受入事業所の声

- 直接、子ども達と関わってもらって、保育士の仕事理解につながったり、仕事というものの捉え方、コミュニケーションが苦手な子ども、戸惑いながらも最後には笑顔で楽しかったと、人と関わることの喜びを感じてもらえた事は大変良かった。(保育園)
- 最終的には観光部事務所で、各自3日間の感想・意見など述べていただきましたが、各自がすばらしい感想を述べており、又バスガイド職に関心を示していました。今後の進路のアシストになれば幸いです。(バス会社)
- 将来、保育士になりたいという生徒がきてくれ、とても礼儀正しく、明るく積極的に動いてくれた。子ども達や、職員へ活気を与えてくれた。そして、このインターンシップを経験し、保育士になりたいという思いが強くなったと聞き、とても嬉しく思った。(保育園)
- 3日間という短い期間で生徒さんたちなりに仕事や職員の大変さに気づき、それでも仕事内容は楽しかったといってくれるので、私たちも満足しています。生徒さんたちの将来の選択肢が広がれば幸いです。(サービス業)
- 生徒が「第一希望ではない」という理由でモチベーションが上がらない場面があったが、介護が意外とおもしろいという感想が出た。(介護施設)

生徒の声

- 就業体験へ来るまでは知らなかったが、クリーニングされたシーツが沖縄県のリゾートホテルや医療施設等へ提供されていることを知って、仕事のつながりがわかり勉強になった。(工場で実習/男子生徒)
- 窓口の仕事だけではなく、地域の人と健康のためにプールで泳ぐイベントを開催するなど、思ってもいなかった仕事があることがわかって驚いた。(役所で実習/女子生徒)
- 最初は難しい作業だったが時間がたつにつれできるようになった。作業自体は繰り返しの作業が多かったので忍耐力がとても付いたと思う。(サービス業で実習/女子生徒)
- 品出し、在庫確認、接客等たくさん体験したが、知らない人と話す接客が一番大変だった。大変だった分コミュニケーション力がついたと思う。(商業施設で実習/男子生徒)
- こどもとのレクリエーションや遊ぶのは楽しいしこどもの笑顔をみるのは嬉しい。これがやりがいになると感じた。(保育園で実習/女子生徒)

沖縄県教育庁 就業体験受入事業所開拓業務  
受託企業:(株)ケイオーパートナーズ  
県立学校就業体験サービスセンター

☎0120-963-582

2017年4月